



● 草の根パートナー型

平成22年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	タンザニア
2. 事業名	地域と保健施設の連携によるリプロダクティブヘルス（RH）サービスの強化
3. 事業の背景と必要性	タンザニア国シヤンガ州の対象地域の25村では、家族計画や産前・出産・産後ケアを含むRHサービスを5ヶ所の村の診療所とレファラルの保健センター1ヶ所に頼っている。遠くの村は、保健施設まで15キロ離れている。この地域では、技能を持つ保健スタッフが立ち会えないために、出産時に緊急事態が発生しても適切な処置を受けられない自宅分娩が50%を超える。また、産後ケアを受ける女性と新生児の割合が10%程度と少ない。村の住民の間には、家族計画の情報やサービスも不足しており、女性は、一生に7～8回の妊娠・出産を経験し、1～2人の子どもを亡くしている。妊娠・出産についての情報や知識を含め、RHに関連した一般的な知識も行き届いていない。保健施設の設備や基礎的医療資器材も不十分で、保健スタッフは知識・技術を維持・向上するための卒後研修などを受ける機会がなく、患者に対する接し方も改善が必要で、サービスの質が良いとは言えない状況である。
4. プロジェクト目標	対象地区の女性にとって質のよいリプロダクティブヘルス（RH）のサービスが利用しやすくなる
5. 対象地域	タンザニア国シヤンガ州シヤンガルーラル県ニンド郡イセラマガジ地区（Iselamagazi）、ムワンティニ地区（Mwantini）、パンダギチザ地区（Panda gichiza）の25村
6. 受益者層	プロジェクト地域の妊産婦、妊娠可能年齢（15～49歳）の女性、新生児
7. 期待される成果及び活動	<p>&lt;成果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの運営体制が整う</li> <li>家族計画および産前・出産・産後ケアを含む正しいRH知識と情報が地域住民に届く</li> <li>ニンド保健センターおよび診療所で提供するRHサービスの質が向上する</li> <li>継続ケアのためのニンド保健センターおよび診療所と地域との連携体制が整う</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) プロジェクト運営委員会の設置 (2) プロジェクト関係者へのオリエンテーション実施 (3) 定期的な活動レビュー実施 (4) 活動の進捗状況のモニタリングとフィードバック (5) プロジェクト成果・経験の共有と持続性に関する最終セミナー実施</li> <li>(1) 保健ボランティア（CBSP）導入にあたっての養成・再研修の研修計画策定 (2) CBSPの養成研修実施 (3) CBSPスーパーバイザー研修実施 (4) CBSP対象の安全な妊娠と出産に関する追加研修実施 (5) CBSP対象の再研修実施 (6) 保健スタッフおよびCBSP対象の行動変容のためのIEC/BCC技能強化研修実施 (7) 保健スタッフおよびCBSPによる啓発活動実施計画の策定 (8) IEC/BCC教材の供与/製作・配布 (9) 保健スタッフおよびCBSPによる啓発活動（IEC/BCC）実施</li> <li>(1) ニンド保健センターおよび診療所でのRHサービスの改善計画の策定 (2) ニンド保健センターおよび診療所に必要な基礎的医療機材・医薬資材供与 (3) 保健スタッフ対象のRHサービスの技能研修実施 (4) 保健スタッフの接遇向上のためのクライアントフレンドリーサービス研修を実施 (5) クライアントへ聞き取り、ニンド保健センターおよび診療所で提供されるRHサービスの質の向上確認とフィードバック</li> <li>(1) 保健スタッフ、CBSP、地域の連携によるRHサービス利用促進のためのシステムづくりワークショップ実施 (2) 保健スタッフとCBSPによる定期的な会合開催 (3) CBSPと地域間での情報共有 (4) 保健スタッフと妊婦による分娩計画の作成 (5) 分娩計画に基づくCBSPによる妊婦へのフォローアップ</li> </ol>
8. 実施期間	2011年3月～2015年3月（4年）
9. 事業費	98,795千円
10. 事業の実施体制	シヤンガ県にプロジェクト事務所を設置し、日本から派遣するプロジェクトマネージャーを中心に、家族計画の普及に経験の豊富な現地NGOのタンザニア家族計画協会（UMATI）をカウンターパートとして、シヤンガ県保健局と密接な連携のもとにプロジェクトを運営管理する。対象地域において、県から村の各レベルに、プロジェクト推進委員会を設置し、オーナーシップに基づく活動実施を推進する。日本国内からは、現地活動に必要な後方支援を行う。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	公益財団法人ジョイセフ
2. 活動内容	リプロダクティブヘルス（RH：母子保健、家族計画、ジェンダー、女性のエンパワーメント、思春期保健等の分野を含む）推進を目的とした地域展開型プロジェクトの実施。海外研修員を日本に受け入れ、RH関連の研修を実施。人口問題・RHへの理解促進のための政策提言。日本国内の国際理解促進のための広報活動、など。